



2021年2月10日

各 位

会 社 名 日本農薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 友井 洋介
 (コード：4997、東証第1部)
 問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋
 (TEL. 03-6361-1400)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月5日に公表した2021年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	67,100	3,700	2,800	2,000	25円41銭
今回発表予想 (B)	70,000	5,000	4,500	3,000	38円13銭
増減額 (B-A)	2,900	1,300	1,700	1,000	
増減率 (%)	4.3	35.1	60.7	50.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	35,674	4,005	4,004	1,477	18円75銭

(注) 当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6カ月間です。

2. 修正の理由

海外農薬販売は、欧州でばれいしょ枯凋剤ピラフルフェンエチル (国内商品名「デシカン」) の販売が好調であることなどから前回発表予想を上回る見込みであります。また、国内農薬販売は、水稻用殺菌剤チアジニル (国内商品名「ブイゲット」) の販売が増加する見込みであります。これらの結果、売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。

利益面においては、上記売上高の増加のほか経費削減などにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上